

しなやか先端技術企業

環境にやさしいテクノロジーで未来を創造

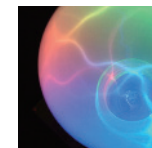
事業フィールド



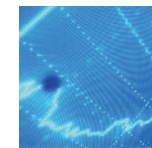
ハードディスク



精密熱処理



液晶



工業用計器・制御通信



半導体



精密切断



太陽電池



レーザープロセス



クリーニング



医療

第45期中間 ビジネスレポート

平成28年4月1日～平成28年9月30日



代表取締役社長
百瀬 武文

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに『第45期中間ビジネスレポート』をお届けいたします。

当第2四半期の業績は、全3セグメントにおいて増収・増益を達成し、トータルとしても前年実績を大きく凌駕することが出来ました。今後も引き続き、通期

業績予想を上回ることが出来るよう、営業活動並びにコストの削減を進めてまいります。

また、当第2四半期の配当金は1株につき10円とさせていただきます。株主の皆様への利益還元を経営上の重要なテーマのひとつと位置づけ、業績や事業計画などを総合的に勘案し、安定的な配当を継続することを基本方針としております。引き続き競争力の強化に努め、株主の皆様への利益の拡大に努めてまいります。

当期は、かねてから当社の目的使命と位置づけている「より多く社会に貢献する」を実現するため、長年にわたる私の経営経験から辿り着いた一つの答えを「究極の理念」として企業理念に追加いたしました。「究極の理念」に基づき、グループ各社の中期の業績を競う「CCチャンピオンシップ」の開催及び、来期から予定している持株会社制への移行の実施により、当社グループ各社の連携と競争を促進し、業績の拡大を図ってまいります。

また、当期新たにミュキエレックス株式会社をグループ会社に迎え、医療分野への進出を果たしました。今後も既存事業における規模の拡大並びにM&A、アライアンスに積極的に取り組み、更なる経営基盤の拡充を進めてまいります。

これからも引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

創業理念

1. 技術集約会社
2. 旺盛なバイタリティー
3. リスクに果敢にチャレンジする
4. 少数精鋭主義

成長理念

1. 社員の豊かさを追求する（経済的、精神的）
2. 国・地方自治体により多く納税する
3. 新製品の創造・提供
4. 地域社会への貢献
5. 株主を優遇する
6. 環境保全のため省資源・省エネルギーを図る

究極の理念

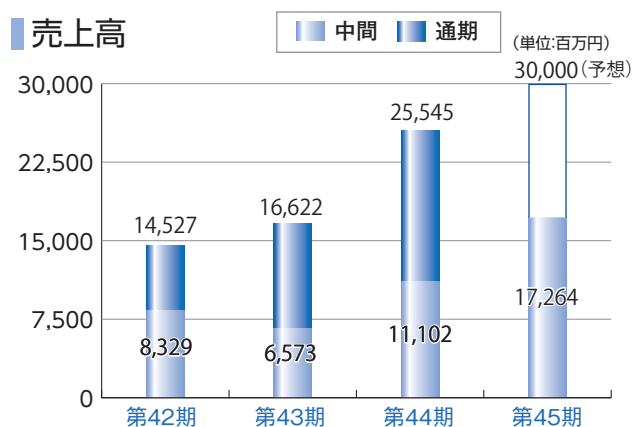
～より多く社会に貢献するために～

1. 社員の成長
2. 雇用の拡大
3. 雇用条件の向上
4. 納税額の拡大

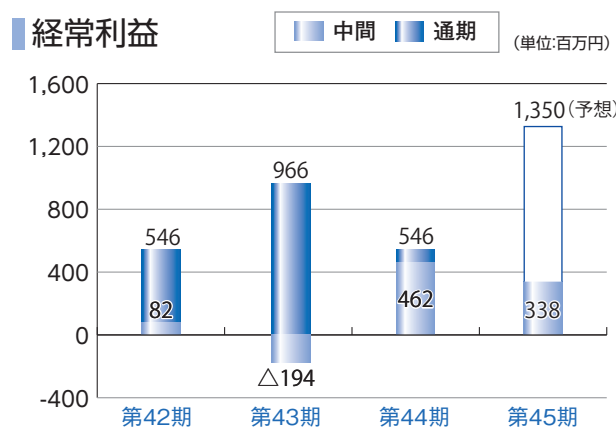
さあ今日も、
ときめきと感動の日々であれ！

	第42期	第43期	第44期	第45期中間	第45期通期(予想)
売上高	14,527百万円	16,622百万円	25,545百万円	17,264百万円	30,000百万円
経常利益	546百万円	966百万円	546百万円	338百万円	1,350百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,229百万円	639百万円	28百万円	263百万円	890百万円
1株当たり純資産額	1,459.87円	1,521.09円	1,482.87円	1479.41円	—
自己資本比率	57.6%	54.9%	38.1%	38.0%	—
配当金	20円	20円	20円	10円	20円

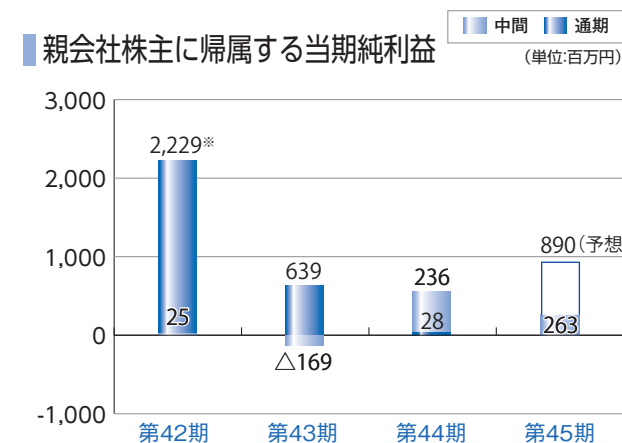
売上高



経常利益

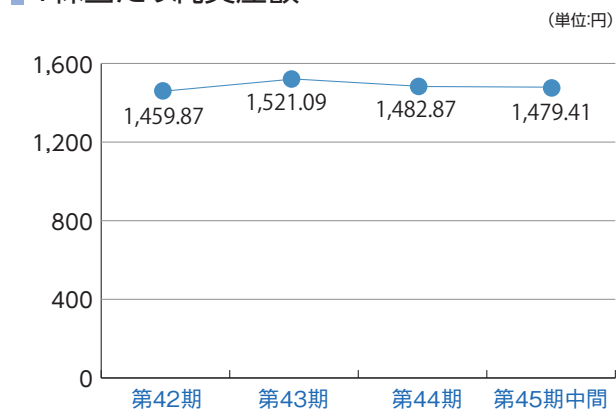


親会社株主に帰属する当期純利益

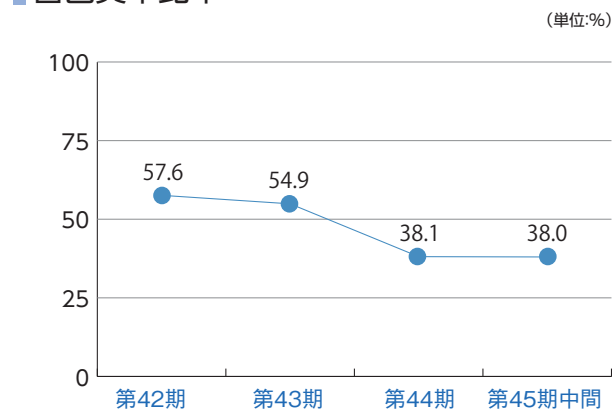


*第42期は当社グループ拡大に伴う負ののれん発生益1,862百万円を計上しております。

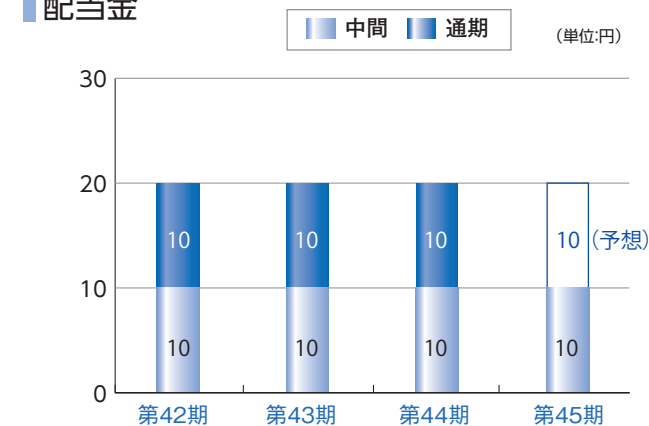
1株当たり純資産額



自己資本比率



配当金



事業概況

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日)における世界経済は、急速な為替変動や新興国の景気減速の影響などから下振れ懸念が続くものの、英国のEU離脱問題による影響が限定的となっていること、また、米国では堅調な雇用や個人消費を背景に利上げ時期を探る展開となっていることなどから、総じて緩やかな回復基調で推移しました。

日本経済においては、円高の進行による企業収益への影響が見られるものの、政府・日銀による経済政策を背景に、横ばい状態から一部に改善の兆しが見られる展開となりました。

このような経済状況のもとで、当社グループは、刻々と変化する顧客ニーズを捉えた装置の開発と市場化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高172億64百万円(前年同期比55.5%増)、営業利益5億84百万円(同26.6%増)、経常利益3億38百万円(同26.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億63百万円(同11.3%増)となりました。

経営の現状と通期見通し

今後の見通しにつきましては、世界経済に減速の懸念が見られるものの、国内では雇用改善に伴う個人消費の増加や、訪日外国人の

増加等により緩やかながらも景気の回復が続くと予想されます。

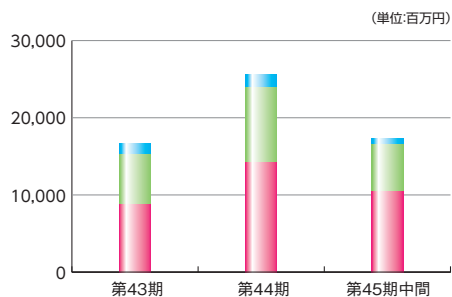
このような事業環境のもと、当社グループにおきましては「規模拡大と高収益体質の構築」の実現をめざしてまいります。近年のM&Aにより拡大した当社グループの連携強化によりシナジーの拡大を図り、グループ一丸となって業績の向上に努めてまいります。

通期の業績は、連結ベースで売上高300億円、営業利益15億円、経常利益13億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益8億90百万円を予想しております。

セグメント別の状況

セグメント別売上高

- クリーニング関連その他事業
- メカトロニクス関連事業
- ディスプレイ関連事業



ディスプレイ関連事業

スマートフォンやタブレット端末向けの装置が好調に推移し、売上高は大幅に伸びました。利益面ではアニール装置の利益が限定的となりましたが、総じて順調に推移しました。

これらの結果、ディスプレイ関連事業の売上高は104億7百万円(前年同期比44.8%増)となり、セグメント利益は5億32百万円(同19.8%増)となりました。

メカトロニクス関連事業

前連結会計年度下期より連結対象となったワイエイシイガーター株式会社が当連結会計年度においては期初から業績に寄与しているほか、太陽電池関連装置及び新型パーニッシュ装置の大口需要を取り込み、業績は好調に推移しました。

これらの結果、メカトロニクス関連事業の売上高は61億20百万円(前年同期比89.2%増)となり、セグメント利益は3億59百万円(同39.1%増)となりました。

クリーニング関連その他事業

クリーニング関連装置分野においては、顧客需要を確実に取り込み、業績は堅調に推移しました。

これらの結果、クリーニング関連その他事業の売上高は7億36百万円(前年同期比8.4%増)、セグメント利益は1億9百万円(同259.8%増)となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 平成28年9月30日現在	前連結会計年度末 平成28年3月31日現在
【資産の部】		
1 流動資産	26,788	26,781
固定資産	7,958	7,979
有形固定資産	5,327	5,343
無形固定資産	954	1,049
投資その他の資産	1,676	1,586
資産合計	34,746	34,760
【負債の部】		
2 流動負債	14,388	14,368
固定負債	6,885	6,893
負債合計	21,273	21,262
【純資産の部】		
株主資本	13,559	13,385
その他の包括利益累計額	△350	△145
新株予約権	38	31
非支配株主持分	225	226
3 純資産合計	13,473	13,498
負債純資産合計	34,746	34,760

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計期間 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日	前第2四半期累計期間 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日
売上高	17,264	11,102
売上原価	14,455	8,843
販売費及び一般管理費	2,224	1,797
営業利益	584	461
営業外収益	31	42
営業外費用	277	41
経常利益	338	462
特別利益	25	0
特別損失	4	1
税金等調整前四半期純利益	359	461
法人税等	83	173
四半期純利益	275	287
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	263	236

4 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計期間 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日	前第2四半期累計期間 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,665	△1,105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,038	△3,801
財務活動によるキャッシュ・フロー	△64	2,950
現金及び現金同等物に係る換算差額	△153	△36
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,408	△1,994
現金及び現金同等物の期首残高	5,155	7,966
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,564	5,972

POINT 1 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は267億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加しました。主な増加は受取手形及び売掛金22億62百万円、現金及び預金14億53百万円、商品及び製品1億65百万円で、主な減少は仕掛品32億47百万円です。

POINT 2 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は143億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円増加しました。主な増加は短期借入金1億43百万円で、主な減少は未払法人税等3億37百万円です。

POINT 3 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は134億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円減少しました。主な増加は利益剰余金1億73百万円で、主な減少は為替換算調整勘定2億12百万円です。その結果、自己資本比率は38.0%(前連結会計年度末は38.1%)となりました。

POINT 4 連結キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期累計期間における営業活動による資金は、26億65百万円の増加(前連結会計年度は、11億5百万円の減少)となりました。これは、主に

■プラス要因

(1)当第2四半期累計期間での売上の増加による「たな卸資産の減少」で35億91百万円

(2)「未収消費税等の還付」他の増加要因で10億70百万円

■マイナス要因

(1)当第2四半期累計期間における「売上債権の増加」で13億13百万円

(2)当期売上に向けて前期に仕込み調達した「仕入債務」の支払いが大きかったことによる「仕入債務の減少」で7億46百万円

の影響によるものです。

また、新規グループ会社への株式取得及び貸付けによる支出等による投資活動による資金で10億38百万円減少、新規借入を上回る借入金の返済等を含む財務活動による資金で64百万円減少した結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び同等物は65億64百万円に増加しました。

Topics 1

新たにミュキエレクトクス(株)をグループ会社化

ミュキエレクトクス株式会社は、昭和22年創業以来、約70年に亘り一貫して開発提案型企業としてお客様のご要望に確かに応える企業として成長してまいりました。

現在は人工透析装置、輸液ポンプや補助人工心臓駆動装置などの医療機器をはじめ、最新の電子技術を生かした防災・防犯用機器、メカトロ技術を用いたラベルプリンタやラベラー等多彩な製品の開発・製造・販売を行っています。

中でも人工透析装置はユーザーフレンドリーな機種として、海外の医療機関において高い評価を得ております。また、ラベラーは製紙工場様などで、最終仕上げ工程において商品ラベルの貼付作業用にお使いいただいております。

さらに、新規事業としてこれまでの技術を融合し、マルチ離床センサー対応型、認知症高齢介護施設向け見守りシステム 介護ロボットMi-Ru(ミール)の販売を開始しました。認知症高齢者の離床状態(起き上がり、端座位)を検知し、即時に複数のスタッフへ知らせ、コミュニケーションをとることによって声かけや居場所の特定、危険状況を確認できる見守りシステムです。今後は介護分野へも力を入れてまいります。

これらの他、電子部品の販売を通じて、多くの製造業のお客様のお手伝いをさせていただいております。当社の取り扱いメーカーはDDK、岡谷電機産業、トーコネ、LEMOコネクタ等で、FA機器、産業機器を始めあらゆる分野にご使用いただいております。

今後ともコア技術であるエレクトロニクス技術をさらに深化させ、より高品質の製品をお届けすることによりお客様の信頼を得て、ひいては社会に貢献することが私どもの願いです。



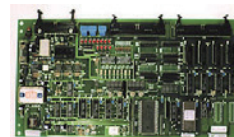
人工透析装置生産ライン



補助人工心臓駆動装置



ラベルプリンタ
BLP-777U



各種プリント基板の開発

見守りシステム介護ロボット
Mi-Ru (ミール)



DDK製コネクタ

Topics 2

ワイエイシガーター(株) WLP向け製品を拡充

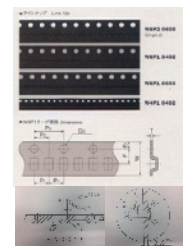
昨今、データセンター向け半導体の起用、スマートフォン向け半導体と電子部品の薄型化、自動車向け電子部品と自動運転向けセンサーや制御部品の小型化と低消費電力化で生産革命が起きています。お客様の要求は製品/パッケージの外観検査、特性検査、高速搬送で合格品のテーピングです。

当社では、これら各工程の要素技術の開発に、テープから製品検査、梱包装置に至る部分について、いち早く技術開発に取り組み、既に量産品としての供給実績を積んできており、こういったお客様のご要望にもお応えできるように、さらなる技術革新に日夜、取り組んでおります。

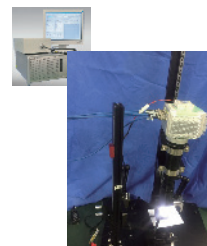
キャリアテープ事業部は、電子部品の表面実装用エンボスキャリアテープのパイオニアであり、自動機事業部は表面実装用電子部品の検査、梱包という後工程の装置メーカーとしても電子部品市場をメインとして、精密梱包材であるエンボスキャリアテープから検査装置の製造販売迄を一貫して行っております。エンボスキャリアテープは、0201(0.2mm×0.1mm厚み0.05mm)に代表される小さく薄い部品を精密な実装を行うために必要不可欠なキーデバイスです。



WLP用外観検査テーピング機



極小極薄エンボスキャリアテープ



画像判定器

ワイエイシホールディングス(株)

<ワイエイシ(株)から分離>

ワイエイシメカトロニクス(株)	メカトロニクス関連
ワイエイシテクノロジーズ(株)	ディスプレイ関連
ワイエイシマシンアリー(株)	クリーニング関連
ワイエイシビーム(株)	レーザプロセス関連

<国内グループ会社>

(株)ワイエイシデンコー	東京都青梅市
大倉電気(株)	埼玉県坂戸市
ワイエイシ新潟精機(株)	新潟県妙高市
(株)ワイエイシダステック	埼玉県戸田市
YAC国際電熱(株)	東京都昭島市
ミュキエレクトクス(株)	兵庫県伊丹市
ワイエイシガーター(株)	東京都青梅市

NIHON GARTER PHILIPPINES, INC.	フィリピン
蘇州嘉大電子有限公司	中国
NGC GARTER(M)SDN. BHD.	マレーシア
嘉大精密科技股份有限公司	台湾

<海外グループ会社>

台湾微艾新科技股份有限公司	台湾新竹市
YAC Systems Singapore Pte Ltd	シンガポール
瓦愛新(上海)国際貿易有限公司	中国上海市
紹興微愛新電子設備有限公司	中国紹興市

会社概要

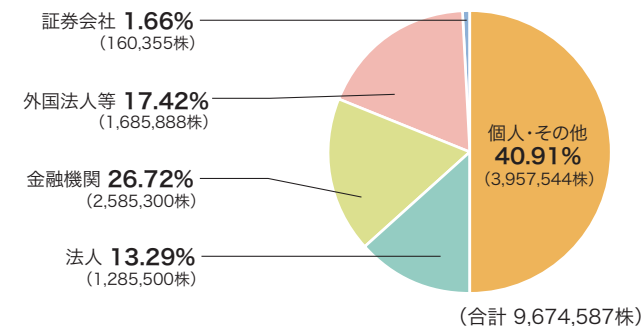
商号 ワイエシイ株式会社
 英文表示 Y.A.C.CO.,LTD.
 本社 東京都昭島市武蔵野三丁目11番10号
 設立 昭和48年5月11日
 資本金 2,756百万円
 従業員数 192名 (連結831名)
 (出向社員・契約社員等の臨時雇用者含まず)

株式の状況

会社が発行する株式の総数		34,388,000株
発行済株式の総数		9,674,587株
当第2四半期末現在の株主数		3,842名
個人・その他※	3,696名	3,957,544株
法人	32名	1,285,500株
金融機関	25名	2,585,300株
証券会社	36名	160,355株
外国法人等	53名	1,685,888株

※自己株式を含みます。

所有株式数分布状況



役員・執行役員

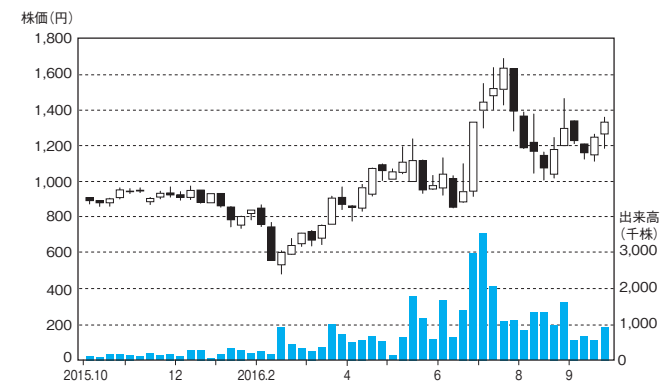
代表取締役社長	百瀬 武文
常務取締役執行役員	佐藤 康男
常務取締役執行役員	伊藤 利彦
取締役執行役員	大福 芳弘
取締役執行役員	副島 幸雄
取締役執行役員	寺本 和政
取締役	石田 祥二 ※社外取締役
取締役	木船 常康 ※社外取締役
常勤監査役	古橋 博
監査役	高田 直規 ※社外監査役
監査役	飯田 哲郎 ※社外監査役
執行役員	村野 恒利
執行役員	坂本 克幸
執行役員	吉田 和彦

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社モトタケ	1,220	12.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,168	12.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	462	4.77
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG(JASDEC/FIN/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS)	450	4.65
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	308	3.18
百瀬 武文	280	2.89
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	258	2.66
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	185	1.91
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	174	1.79
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	151	1.56

※当社は、自己株式を745,801株保有しておりますが、大株主からは除外しております。

株価・株式売買高の推移(週足)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
期末配当金受領株主確定日	3月31日		〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
中間配当金受領株主確定日	9月30日		TEL 0120-232-711 (通話料無料)
定時株主総会	毎年6月	上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	公 告 の 方 法	電子公告により行います
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	公告掲載URL	http://www.yac.co.jp/

(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご紹介

株主・個人投資家の方々に対しての
当社の状況をわかりやすく伝えたコンテンツを
提供しております。

<http://www.yac.co.jp/>

または、**ワイエイシイ** **検索** で検索ください。



ワイエイシイ株式会社

〒196-0021 東京都昭島市武蔵野3-11-10
TEL:(042)546-1161(代表) FAX:(042)546-1107
URL <http://www.yac.co.jp>